



学校だより

横浜市立大鳥小学校

令和2年10月1日 発行

おおとり

10月号

学校教育目標

〒231-0806 中区本牧町1-251
学校長 水島 貴志 TEL 621-7700

はばたく子

◆やさしい子

◆たくましい子

◆かしこい子



工夫すれば「できる」こと

校長 水島 貴志

「暑さ寒さも彼岸まで」とはよく言ったもので、先週あたりから朝晩ぐっと涼しくなる日が多くなってまいりました。快適に過ごしやすいと感じる反面、季節の変わり目は体調を崩しやすくなります。子どもたちはもちろん、保護者・地域の皆様におかれましても、体調管理に気を付けていただきたいと思います。

先日、創立100周年記念事業の一環として、航空写真撮影がありました。全校児童が校庭に集合し、色パネルを持って「ゆめさく」の形に並んでセスナ機の飛来を待っているとき、ふと「こんな風に全校の子どもたちがそろったのは、今年度初めてだな。」と思い、少なからず感動してしまいました。改めて、「当たり前なのが当たり前のようにできるということは、有難いこと。」と感じました。

そして現在、学校ではBSFに向けての準備が始まっています。BSFと言えば、本校の教育活動の目玉と言っても過言ではないほど大切なイベントですが、そんな大事な活動でさえ、新型コロナウイルスの影響を受け、例年通りにはいかない場面がたくさん出てきています。例えば、応援。BSFの時期と言えば、熱のこもった応援が1～2か月にわたって学校中に響き渡るのが常でしたが、今年はマスクを着けたまま友達どうし距離を取って、時間や回数を制限しながら練習しています。例えば、演技・競技。友達どうし距離を開けてできる動きや種目を考え、制約がある中でもどうしたら楽しく盛り上がり得るか、子どもと一緒に動きやルールを工夫するなどして練習を進めています。



たてわり教室で、応援やダンスの練習が始まりました。換気を行い、マスクを着用し、短い時間で伝えられるように工夫しています。各バード 6年生、5年生を中心に優勝目指して燃えています。

また、各学年の宿泊行事の代替イベントとして、さらには創立100周年記念事業の一環として考えている森林公園への全校遠足の計画立案もスタートしました。初めての試みなので0からのスタートですが、密にならないようにたてわりグループの動きを考えるなど、まずは職員で骨格を考えていきます。BSF後には子どもたちとともに実際の活動を考えていく予定です。

このような状況なので、「できない」ことはたくさんあります。しかし、工夫すれば「できる」こともたくさんあると思います。本校で大事にしていることを再確認しつつ、不要不急ではないことは工夫しながら「できる」形で取り組んでいきたいと思っています。

最後に、「検討中」だった2つの事柄について、次のように決めさせていただきましたのでご了解ください。

(次ページへ)

(前ページから)

①BSFの保護者・地域・ご来賓の皆様の参観は、残念ながらできません。

今回のBSFでは、「3密を避ける」という制約の中で、いかにねらい(目標)に迫ることができるか、という視点で検討を進めてきました。その結果、分散型は考えられず、全学年の子どもたちが一斉にそろうことが必要である、そして、密を避けた形で応援席の配置を設計し、当日の動線などを考慮すると、たとえ立ち見であっても参観する場所がない、という結論に至りました。今年度のBSFについては、保護者・地域・ご来賓は参観できませんので、何卒ご了承ください。

その代わりに、次のことを考えていきます。

○学年だより等で、学年(あるいはブロック)の練習日程と内容をお知らせします。普段の参観と同じように子どもたちの様子を見ていただき、応援していただければと思います。特にBSF本番直前の練習では、合同種目・個人種目・ダンスなど、練習の総仕上げの姿を見ていただければと思います。ただし、天候や状況により内容等が変更になることもありますので、その点はご了承ください。

・はちまき授与式 10/13(火)1:25～1:55 たてわり教室にてTV放送で行います。
保護者へ向けての視聴は2階プレールーム・多目的室を開放しますが、人数によっては制限させていただきます。

・全体練習&団結式 10/26(月)8:40～10:15 児童応援席を設定し校庭で行います。
BSF当日には開放できないスペースを利用することで、人数によって参観が可能になります。

○当日、PTA広報委員さんの取材、写真屋さんの撮影などを依頼し、できる範囲内で記録に残し、後日、子どもたちの当日の様子が保護者の方々にもわかるようにします。

②後期も、登校班による登校(集団登校)はいたしません。

これまで、例年行っている登校班による登校(集団登校)を、感染症拡大防止の観点から行っておりませんでした。特に夏の間は登下校中にマスクを外すことが多かったため、密になることを避けてきました。だんだん涼しくなってきた、熱中症の心配なども少なくなり、マスクを外す機会も夏ほどはなくなってきましたが、感染症対策については依然として気を抜けない状況であり、あえて集団になることをできるだけ避けたいと考えております。また、年度途中の登校の仕方の変更は、あらぬ混乱を招く恐れもあります。したがって、今年度いっぱいには集団登校を見合わせたいと思います。

今年は、いろいろなことが例年通りにはいかない難しい年となっています。しかし同時に、大切なことは何か、その都度考えざるを得ない状況となっており、その経験は必ずや今後の活動に生かせると信じております。それは、大人も子どもも一緒です。よく考えながら今の時期を乗り越え、大人も子どもも学校も、一回り大きく成長したい、してほしいと思います。保護者・地域の皆様、今後ともご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。